

## 平成28年度 第3回 日進市地域包括ケア検討会議 議事録

- 1 日 時 平成29年3月21日（火） 午後1時30分～同3時10分
- 2 場 所 日進市役所 4階 第3会議室
- 3 出席者 五十里明（会長）、田貫浩之（副会長）、宮脇利明、森道成、星野和三、花井祥雄、高平和彦、加藤利秋、加藤知恵美、加藤理子、梅原寛子、住田敦子、村井良則
- 4 欠席者 鈴木絹子、山田幹雄、大野香代子
- 5 事務局 山中和彦（健康福祉部長）、梅村光俊（健康福祉部参事）、小塚多佳子（健康福祉部次長兼健康課長）、川本賀津三（介護福祉課長）、水野隆史（地域福祉課長）、柏木晶（地域福祉課課長補佐）、中根太地（地域福祉課地域支援係係長）、久野倫太郎（地域福祉課地域支援係主査）、木村由香梨（地域福祉課地域支援係主事）
- 6 傍聴の可否 可
- 7 傍聴の有無 有・4名
- 8 報告事項
  - （1）地域包括ケアの進め方について
  - （2）介護予防・日常生活支援総合事業について
  - （3）生活支援体制整備事業について
  - （4）在宅医療・介護連携推進事業について
  - （5）にっしん高齢者ゆめプランについて

事務局 定刻になりましたので、ただ今から、平成28年度第3回日進市地域包括ケア検討会議を開催します。それでは会議の開催に先立ちまして、五十里会長よりあいさつをお願いします。

会長 (あいさつ)

事務局 まず始めに、本日の配布資料について確認いたします。

(資料確認)

事務局 さて、本日の出席委員は13名でございます。会の開催につきましては、日進市地域ケア会議設置要綱第4条第5項の規定に基づき、委員総数の過半数に達していますので、会の成立をあらかじめ確認させていただきます。

それでは、以後の進行につきましては、五十里会長にお願いをいたします。

会長 ただ今、事務局から仰せつかりましたので議長を務めさせていただきます。議事がスムーズに進行しますよう、皆様のご協力をお願いいたします。まず、会議の公開についてですが、本日傍聴の申込みはありますか。

事務局 申込みが4名ございます。

会長 申込みがあるとのことですので、会議を公開とするのか、非公開とするのかをお諮りします。本会議におきまして、個人のプライバシー等が明らかになるような公開するのに適当でない事項の審議はありません。会議の公開についてご意見はございませんでしょうか。ご意見がないようであれば、採決をとらせていただきます。会議の公開について賛成の人は挙手をお願いします。

(挙手全員)

会長 それでは本日の会議につきましては、公開といたします。事務局は傍聴人を入場させてください。

(傍聴人案内・入場)

会長 それでは本日は5つの報告事項がございます。1) 地域包括ケアの進め方について、2) 介護予防・日常生活支援総合事業について、3) 生活支援体制整備事業について、4) 在宅医療・介護連携推進事業について、5) にっしん高齢者ゆめプランについて、5案件の提出がございます。

それでは、さっそく報告1 地域包括ケアの進め方について、市担当より説明をお願いします。

事務局 (資料1 (1)、別紙1を説明)

会長 ただいま、事務局より説明がありましたが、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。

会長 いかがでしょうか。具体的にないようでしたら、後ほど順次お受けいたしたいと思います。それでは、続きまして報告2 介護予防・日常生活支援総合事業について、および報告3 生活支援体制整備事業について、市担当より説明をお願いします。

事務局 (資料1 (2)(3)を説明)

会長 只今、市担当より説明がありましたが、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。

会長 認知症の施策は非常に大きな課題かと思いますが、認知症カフェ、あるいは家族交流会は順次地域で開催していくのでしょうか。あるいはある程度固定されて開催されているのでしょうか。

事務局 固定されています。家族交流会につきましては、毎月1回開催ということで定期的に行っています。認知症カフェにつきましては例年3月に一度という形になりますが、認知症家族交流会を受け持っていて愛知県認知症家族の会に参加いただきまして、カフェを出前という形で出店いただいています。

会長 それに対して、支えあいによる支援の認知症サポーター養成研修や出前講座などは随時、対象を広げていくということですね。

事務局 サポーターの養成のような啓発の目的とする事業としては、数をとにかく増やしていくことが課題かと思います。認知症に関する徘徊の問題もありまして、本市は「やさしい手ネットにっしん」といった徘徊に関するSOSネットワークがありますが、この活動の中心となるのがサポーター養成講座を受講された方ということになります。ただ、日中本当に動ける方というのが十分に満たされているのかというと、まだまだ不足している部分もあります。たとえば商店や企業、連携協定を結んでいる各機関の方との連携も一体的に含めまして、この養成講座を進めていきたいと考えています。

委員 認知症サポーターの数が5300人を超えていますが、サポーター養成講座を受講されてサポーターになられた後、1回受けただけでは何年か経った後どういったものを受けたか忘れてしまうと思うのですが、そのあたりのフォローはされていますか。

事務局 ご指摘のとおりで、一度受講した後に何度も受講するといった方も実際にはいらっしゃると思います。実際に見守り支援という視点で考えますと、個で動いているものを線でつなげていかないとなかなか機能体制としては厳しいと思いますので、そのあたりの連携は地域づくりの一環として進めていきたいと考えています。また、認知症サポーター養成講座を受講された方の後の動きが現在ない状況ですので、そのあたりも少し検討させていただき、充実させていきたいと思っています。

委員 認知症サポーターを増やすということで、取り組まれていると思いますが、一部小中学生、大学生も受講されていますが、サポーターの参加に向けてどのようにアプローチされているのでしょうか。また、今後どのように増やしていこうとしているのか方針等があれば教えてください。

事務局 基本的には待ちの姿勢となります。従来学校に総合学習の時間があつた時代は、学校側もその時間を使って積極的にやりたいといったお申し出をいただいていたのですが、総合学習の時間がなくなった関係でなかなか枠が取れないといった学校が多いと聞いています。ただ、アプローチとして何もしないというのは課題かと思っていますので、各学校に対してもどういった形で開催ができるかを周知しまして、今後の講座につなげていきたいと考えています。

委員 私は非常に分かりにくいところが多いですね。行政側から言えば、こういった講座、研修をやっていますというのはたくさんあると思うのですが、受ける側からみると果たしてどこで、どういった人たちが対象で受けられるかということが分かりにくいんですね。行政側はこういった講座を開催しますよという一覧表、受ける側はどういった人が対象なのか、地域の一般の方対象なのか、コーディネーターのような専門の方対象なのか、3ブロックぐらいに分けて日程表が作られるといいかと思っています。たとえば、にしん幸せまちづくりプラン行政区地域座談会ですが、うちの近くでも実施されていると思うのですが、開催されていたのかどうか、私は受けたのかどうかも記憶にないくらい不鮮明なんですね。行事が多数あるので、そのあたりを整理して一覧表になるといいかなと思います。

事務局 ご意見ありがとうございます。社会資源の把握ということで、生活支援コーディネーターが各地域にあるインフォーマルなサービスの見える化の事業を進めているところです。どういった支援が各地域にあるかということをもとめている

ところです。それがまとめ次第、こういった会議を通じて提供させていただきたいと思います。地域座談会については、今回は区長様を通じて関係者の方を集めていただくよう、依頼させていただきました。具体的にどういった方を集めたらよいか、少し曖昧な点もあったと思いますので、そのあたりは改善いたします。

会長 事業をどう評価するかということですね。対象がどれぐらいいて、そのうちのどれぐらいの方たちに事業を進めていくかという観点もお持ちだと思います。予算などの制約もあり、なかなか難しい部分だと思いますが、事業を進めていく上で評価したものを次の改善へつなげていく PDCA (Plan-Do-Check-Act) サイクルを意識した事業を計画することも求められますね。できるだけわかりやすくということも大切ですね。その他、よろしいでしょうか。それでは続いて、報告4在宅医療・介護連携推進事業について、市担当より説明をお願いします。

事務局 (資料1(4)、別紙2～5を説明)

会長 本件に関連して、東名古屋医師会在宅医療サポートセンターの村井委員より、提供資料がありますので、委員よりご説明お願いいたします

委員 (別紙6を説明)

会長 それでは、先ほど市担当より説明がありました在宅医療・介護連携推進事業について、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。

委員 在宅医療・介護連携推進事業の8つの取り組みについてのところで、2年前の平成27年3月この事業が始まる直前に厚生労働省から手引きを示されていると思いますが、その手引きが2年ぶりに改定されます。4月から新しい手引きができるということで、(キ)の地域住民への普及啓発を除いた(ア)から(ク)において新しい項目が盛り込まれたり、内容が細かくなっております。3月9日の国の会議資料ということで、現在案の段階ですが、厚生労働省のホームページにもすべて示されておりますので、またご参考にしていただきたいと思います。

委員 地域への出前講座市内19行政区に順次開催ということですが、スケジュールはすでにできているのですか。

事務局 具体的なスケジュールはまだできておりません。今年度は高齢化率の高い、意識の高い地域を先行して始めました。来年度また、区長会等を通じてこのような取り組みを紹介させていただきます。その際にご希望いただければ、優先的にその地域にお伺いしようと思います。

委員 22ページの電子連絡帳の導入実績ですが、在宅医療をしない医師がヘルピーネットを導入しないのは分かるのですが、訪問看護ステーションや居宅介護支援事業所の率がほかに比べて低いのが気になりますが、これは何か理由があるのでしょうか。

事務局 訪問看護ステーションについてはあと2箇所導入に至っていないところがあります。居宅介護支援事業所についても会合等でシステムの紹介、導入についての依頼をさせていただいておりますが、引き続きお願いしてまいりたいと思います。その中で、医師の先生方の導入について導入率が上がらないと居宅側もなかなか使えないといった声も聞いておりますので、医師会の方も是非よろしく願いいたします。

会長 よろしいでしょうか。それでは、医師会から資料提供の在宅医選任システムについて何かご意見・ご質問等がありましたらお願いします。

委員 薬局が在宅でお世話させていただくケースもあるかと思いますが、そのシステムにおいてはどのような選定の仕方がオーソドックスな形になるとお考えでしょうか。

委員 医師会のシステムは在宅医を想定していますが、薬局ですと24時間対応の薬局や在宅医療対応の薬局など、現在地区の薬剤師会で何か詳しい一覧などをもし提供いただけるようでしたら、このシステムの中で是非ご紹介させていただきたいと思います。

委員 ありがとうございます。愛知県薬剤師会のホームページの中から入っていただくと地区のページがありまして、そのページに対応可能とか麻薬が使えるなど分かる一覧があります。ただ、その情報よりも新しい情報でしたら、ご照会いただければ情報提供はさせていただくのですが、流れがどのようなになっているか疑問に思ったものですから、ご質問させていただきました。

委員 このシステムはまだ作ったばかりで、実際の運用はまだこれからということになります。愛知県薬剤師会のリストについては、その範囲であれば、こちらで整理して作成しているところですが、おそらく往診されるのは年に数回程度だと思いますので、より詳しい最新の情報をいただければと思います。

委員 わかりました。薬局としてもこういった医師の選任システムに組み込ませていただいたら、話が早いのかなと考えております。当然ですが、医師と薬局の連携も大事ですし、患者さんと薬局との連携も大事だと思いますので、そのあたりの

折り合いのよいところで決まってくるのが理想かなと考えています。

委員 医師会の委員会の新たな議題として検討させていただきます。それから、歯科医師会も現在検討されていると伺っております。その状況を教えていただけますか。

委員 愛豊歯科医師会は各支部に分けて、専門の地域包括の委員会に議題をあげて検討していますが、各地区で支部会議でどの委員がどのぐらいのレベルのことをやれるか把握するため、アンケートをとって、リストを作って一部掲出しております。今完成しておりますが、年度ごとに内容も変わってきますので、年に一度ほど調査をして、毎回集計して行政等に配布するということが決定しております。医師の選任システムもほぼ決定しております、基本的には支部長に一任にはなりますが、内容を決めて、支部長から任命する形です。文書化したものをまたお渡しすることになると思いますので、よろしくお願いいたします。

会長 このような形で色々な情報の共有化ができるのはよいことだと思います。ほかによろしいでしょうか。サポートセンターは平成30年3月で閉められるのですか。

委員 もともと3年間の時限の事業ということで、補助金の中での運営ということになっておりまして、その後のことについては、医師会の中で今後検討していくことにはなるとは思いますが、現時点ではまだ何も決まっておりません。

会長 わかりました。ほかによろしいでしょうか。それでは続いて、報告5にっしん高齢者ゆめプランについて、市担当より説明をお願いします。

事務局 (資料1(5)を説明)

会長 それでは只今、市担当より説明がありましたが、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。来年度、この検討会議は5回予定されているということによろしいでしょうか。

事務局 そうです。また、具体的なスケジュールは決定しましたら、事務局よりご案内させていただきます。年間5回程度開催したいと考えております。

会長 また、皆様ご協力をお願いいたします。ほか、よろしいでしょうか。ないようでしたら、これで、本日の議題をすべて終了となります。事務局より、他に連絡事項があればお願いします。

事務局 会議の中でもお話がありましたが、別紙3、3月25日土曜日午後1時30分から日進市の介護予防講演会を行います。今回は、映画会となっております、場所が中央福祉センターから日進市市民会館小ホールに変更となります。まだ、若干定員まで空きがありますし、会場を変更したことでやや余裕ができましたので、ご希望の方がいらっしゃいましたら是非お越してください。それから、先ほどもスケジュールの話が出ましたが、次回、この会議の開催ですが、詳細は決まっておりませんが、来年度に入りましたら、早々に開催させていただきたいと思いますので、日程が決まり次第文書等でご案内させていただきます。よろしくお願いいたします。

会長 ほかに何かございますか。

委員 この会議は、私ども65歳以上の者が利益を受けるので、大きなことは言えませんが、皆様是非良いプランをよろしくお願いいたします。

会長 それでは、以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。

(午後3時10分 閉会)